



2019年2月16日

各位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証第一部)  
問合せ先 取締役 IR担当 藤山 敏久  
(TEL. 0996-68-1140)

### 2019年1月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年1月度の月次受注残高を開示いたします。

記

#### 1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	521	74.5%	△3.4%	△28.5%
FPD分野	174	24.9%	6.2%	△43.1%
その他分野	4	0.7%	0.9%	△76.2%
合計	701	100.0%	△1.1%	△33.7%

#### 2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/2	2018/3	2018/4	2018/5	2018/6	2018/7
半導体分野	774	788	814	785	811	741
FPD分野	311	323	362	360	344	322
その他分野	6	7	6	10	8	7
合計	1,092	1,119	1,183	1,156	1,165	1,071

区分	2018/8	2018/9	2018/10	2018/11	2018/12	2019/1
半導体分野	675	606	571	534	540	521
FPD分野	239	147	158	174	164	174
その他分野	37	22	3	26	4	4
合計	953	776	733	736	709	701

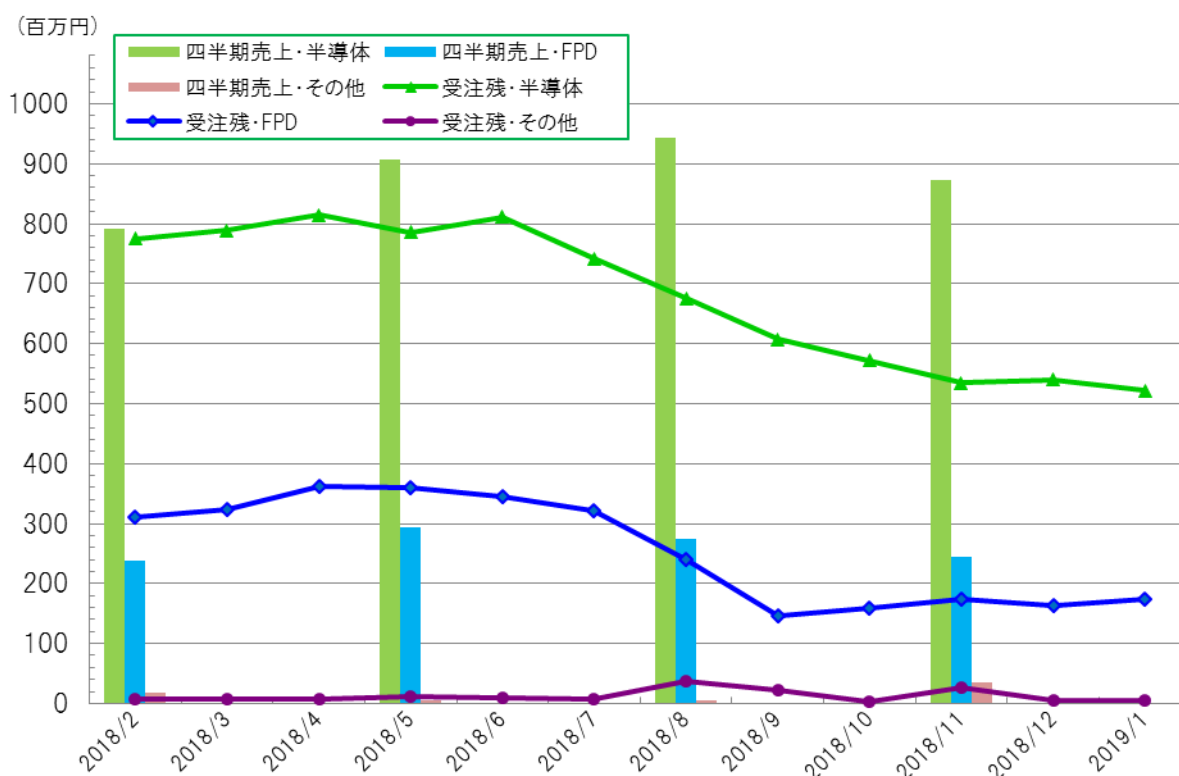
### 3. 月次受注残高の概況

2019年1月末の受注残高は、半導体分野においては、受注及び出荷検収が停滞傾向にあることから、対前月増減率は3.4%減、対前年同月増減率では28.5%減の521百万円となりました。FPD分野においても、受注及び出荷検収は停滞しており、対前月増減率は6.2%増、対前年同月増減率では43.1%減の174百万円となりました。その他分野においては、主だった動きはありませんでした。これらの結果、2019年1月末の受注残高は、対前月増減率1.1%減、対前年同月増減率33.7%減の701百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野ではロジック向けの設備投資案件については回復が続いておりますが、メモリ向けの投資は先細りの見通しとなっております。そのような環境下にあることから、メモリ向け投資が再開するまでの期間は、出荷検収に対する受注が不足することで、受注残としては停滞傾向となる可能性があります。ただし、当社の半導体向け受注品種は消耗品比率が高いことから、新規装置需要に関わらず、一定の受注は確保していく見通しを持っております。また、厳しい市場環境ではありますが、試作品への対応を進め、次世代品種の受注拡大を狙って行く方針です。FPD分野では、中小型パネル向けが停滞していることから大型液晶パネル向けへ受注品種の転換を進めておりますが、当期第4四半期からは効果が出始める見通しを持っております。その他分野につきましては、当社生産キャパの空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っており、当期第3四半期から受注が拡大する見通しを持っております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。